NEC Expressサーバ・ワークステーション
Express5800シリーズ

Array Recovery Tool

インストレーションガイド

ONL-019aS-COMMON-013-99-0104

商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。
EXPRESSBUILDERは日本電気株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Mylexは米国Mylex Corporationの登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。
Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
(4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、NECのExpress5800シリーズサーバ・ワークステーションをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

Express5800シリーズサーバ・ワークステーションに添付されている「Array Recovery Tool」は、本体が持つ機能をさらに拡張しクライアントサーバシステムでの信頼性を強化するものです。

本書では、Array Recovery Toolを導入するにあたり必要となるセットアップの手順について説明します。

本書での内容は、Windows 2000やWindows NTの機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。Windows 2000やWindows NTに関する操作や不明点については、各OSのオンラインヘルプなどを参照してください。

本文中の記号について

本文中では次の3種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。

ユーティリティや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。

ユーティリティや装置を取り扱う上で確認をしておく必要がある点を示します。

知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

ソフトウェア使用条件

添付のCD-ROM内のソフトウェアを使用するにあたって、添付のソフトウェアのご使用条件をお読みになり、その内容についてご確認ならびにご承諾ください。

ユーザーサポートについて

ソフトウェアに関する不明点や問い合わせは別冊の「ユーザーズガイド」に記載されている保守サービスセンターへご連絡ください。また、インターネットを使った情報サービスも行っておりますのでご利用ください。

http://www.express.nec.co.jp/

『58番街』：製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載！

http://www.fielding.co.jp/

NECフィールディング（株）ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介しています。

1　概　要

Array Recovery Toolは、Mylexディスクアレイコントローラに接続されているハードディスクの状態を監視し、不良ハードディスク(DEAD状態)を検出すると自動的にリビルド、整合性チェックを行い、システムドライブを復旧します。

2　インストールの前に

ここでは、Array Recovery Toolをインストールする前に知っておいていただきたい事柄について説明します。

2.1　動作環境

Array Recovery Toolが動作するために必要な動作環境について説明します。

- **ハードウェア**
  - 本体：Mylexディスクアレイシステムを構築しているExpress5800シリーズ装置
  - メモリ：OSの動作に必要なメモリ＋1MB
  - ハードディスクの空き容量：1MB以上

- **ソフトウェア**
  - Microsoft Windows 2000
  - Microsoft Windows NT 4.0 Service Pack 5以降

Array Recovery Toolが動作するためには、Global Array Manager(GAM)をシステムにインストールする必要があります。EXPRESSBUILDERからGAMをインストールしてください。

GAMのインストールについては、ユーザーズガイドまたはオンラインドキュメントを参照してください。

2.2　監視対象となるアレイコントローラ

Array Recovery Toolがサポートするアレイコントローラは次のとおりです。

- AcceleRAID160（N8103-52）
- AcceleRAID352（N8103-53）

AMI社製ディスクアレイコントローラはサポートしていません。AMI社製ディスクアレイコントローラを使用する場合、Array Recovery Toolはインストールしないでください。

2.3　ESMPROのサポート範囲

ESMPROとの通報連携は、ESMPRO/ServerAgent Ver.3.2以降のバージョンから対応しています。ESMPRO/ServerAgent Ver.3.1以前のバージョンはサポートしていません。

3 インストール

Array Recovery Toolのインストールでは、Array Recovery Toolのファイルのインストールと環境設定を行います。

Array Recovery Toolのインストールは、本体添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」を使用して行います。次の手順に従ってArray Recovery Toolのファイルのインストールと環境設定を行います。

1 装置本体の電源をONにして、Windows 2000またはWindows NTを起動する。

2 CD-ROM「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブにセットする。

マスターコントロールメニューが表示されます。

- マスターコントロールメニュー上で右クリックしてもメニューが表示されます。
- 表示された「マスターコントロールメニュー」を閉じるには、[終了]をクリックします。

既にArray Recovery Toolがインストールされていて再度インストールする場合、システムにインストールされているArray Recovery Toolをアンインストールしてから行ってください。アンインストールの方法については「4 アンインストール」を参照してください。

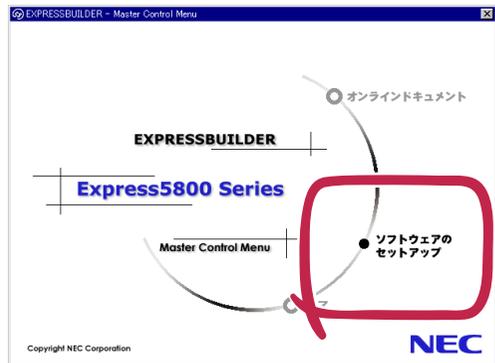
3 [ソフトウェアのセットアップ]－[ESMPRO]をクリックする。

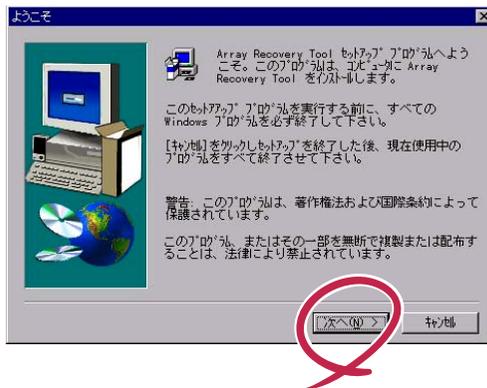
ESMPROセットアップのメインメニュー画面が表示されます。

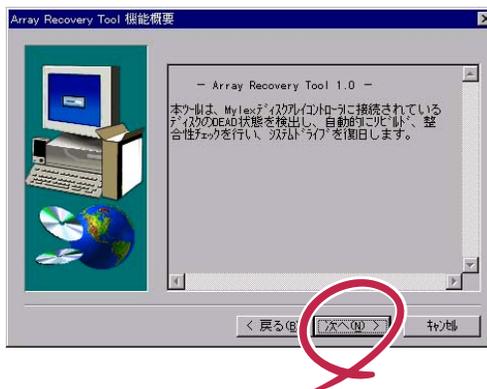
4 [関連ユーティリティのメニューへ]をクリックする。

[関連ユーティリティメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

5 [Array Recovery Tool]をクリックする。

Array Recovery Toolのインストーラを起動すると動作準備状況を右の[セットアップ]ダイアログボックスで表示し、[ようこそ]ダイアログボックスが表示されます。

6 [次へ]ボタンをクリックする。

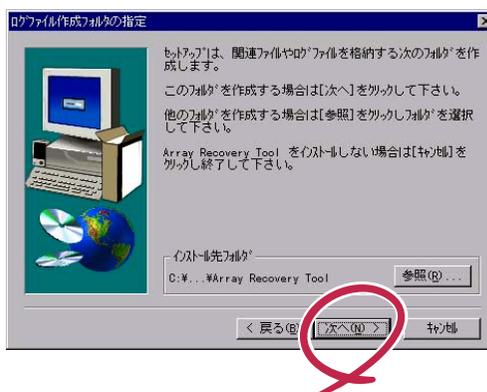
[Array Recovery Tool機能概要]ダイアログボックスが表示されます。

7 [次へ]ボタンをクリックする。

[ログファイル作成フォルダの指定]ダイアログボックスが表示されます。

8 インストール先フォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックする。

インストール先フォルダを変更する場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダを指定します。

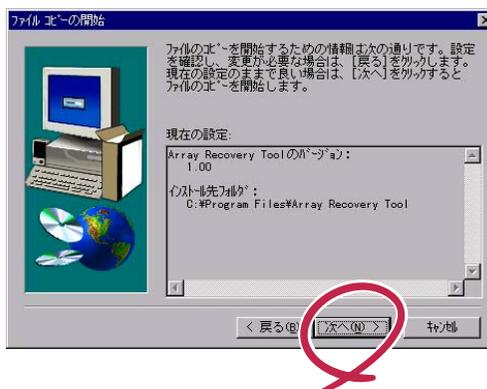
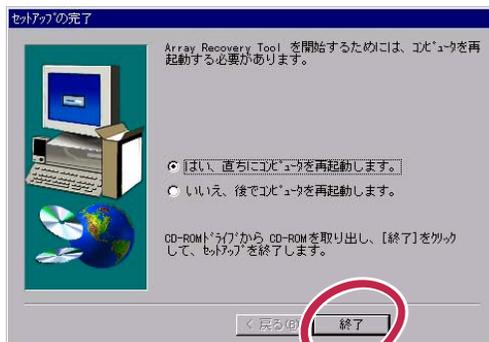
ヒント

インストール先フォルダは、容量の問題がない限りデフォルト値の設定で問題ありません。

[ファイルコピーの開始]ダイアログボックスが表示されます。

9 [次へ]ボタンをクリックする。

インストーラがファイルのインストールと環境設定を行った後、[セットアップの完了]ダイアログボックスが表示されます。

10 [終了]ボタンをクリックする。

ヒント

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」のデフォルト値のまま[終了]ボタンをクリックすることにより、システムが再立ち上げされ、自動的にArray Recovery Toolの監視サービス(Array Recovery Service)が起動されます。

以上でArray Recovery Toolのインストールは終了です。

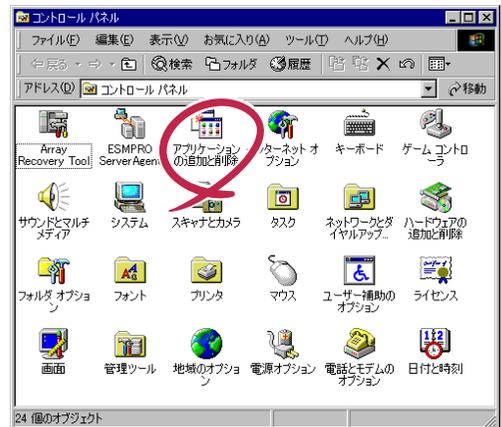
4 アンインストール

Array Recovery Toolのアンインストールでは、Array Recovery Toolのファイルの削除と環境設定の解除を行います。

次の手順に従って、Array Recovery Toolをアンインストールします。

1 [コントロールパネル]ウィンドウから[アプリケーションの追加と削除]を選択し、ダブルクリックする。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

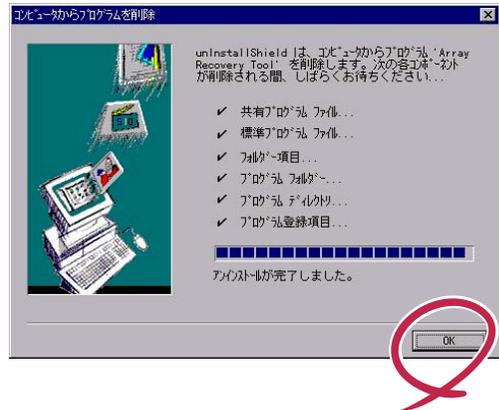
<Windows 2000での表示例>

2 [Array Recovery Tool]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックする。

アンインストーラが起動し、[ファイル削除の確認]ダイアログボックスが表示されます。

3 **[はい]ボタンをクリックする。**

[コンピュータからプログラムを削除]ダイアログボックスが表示されます。

Windows NT 4.0上でアンインストーラを起動する場合、[コントロールパネル]ウィンドウを閉じてから[はい]ボタンをクリックしてください。[コントロールパネル]ウィンドウが開いたままだと[コントロールパネル]で使用しているArray Recovery Toolの一部のファイルが削除されません。

4 **「アンインストールが完了しました。」が表示された後、[OK]ボタンをクリックする。**

- Windows 2000上でArray Recovery Toolをアンインストールする場合はアンインストーラを終了あとにシステムを再起動してください。システムを再起動しないと、Array Recovery Toolは完全にアンインストールされません。
- Windows 2000上でArray Recovery Toolをアンインストールすると、「Array Recovery Toolはシステムから削除されませんでした...」というメッセージダイアログボックスが表示されることがあります。このダイアログボックスが表示されてもシステムの再起動によりアンインストールは成功します。メッセージダイアログボックスを閉じて、システムを再起動してください。

以上でArray Recovery Toolのアンインストールは終了です。